

# 平成23年度 上田市教育行政に係る事務の点検及び評価報告書

## 上田市教育行政評価懇話会

第1回 平成24年6月26日(火) 午前10時～午前12時

第2回 平成24年7月 2日(月) 午前10時～午後0時30分

第3回 平成24年8月 1日(水) 午後1時30分～午後4時30分

上田市教育委員会

## 目 次

I 趣旨		1
II 上田市教育行政評価懇話会		1
III 評価の方法		2
IV 評価の結果及び懇話会の提言内容等		
1 上田市教育支援プランの推進		
① 学ぶ意欲を育む授業づくり	学校教育課	3
② きめ細やかな個に応じた指導の充実	学校教育課	4
③ 学校給食に関する基本計画の策定と実施	教育総務課	5
④ 地域に信頼され、地域に開かれた学校づくり	学校教育課	6
2 学校施設の耐震化推進と教育環境の整備		
① 小中学校施設耐震化事業	教育総務課	7
② 小中学校施設整備事業	教育総務課	8
③ 放課後児童クラブ施設整備事業	学校教育課	9
3 市民による文化の力の結集と地域文化財の保護・継承		
① 市民参加と協働による文化芸術拠点の創造	文化振興課	10
② 子どもたちと文化芸術との出会いの場づくり	文化振興課	11
③ 史跡等整備事業	文化振興課	12
④ 博物館における学習環境の提供	博物館	13
4 生涯学習の推進による地域の教育力の醸成		
① 社会教育施設整備事業	生涯学習課	14
② 地域が学校を支援する事業	生涯学習課	15
③ 青少年健全育成の推進	生涯学習課	16
④ 人権同和教育推進事業	生涯学習課	17
⑤ 生涯学習情報の一元化の推進	生涯学習課	18
5 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備		
① 生涯スポーツ活動の推進	スポーツ推進課	19
② 総合型地域スポーツクラブ支援事業	スポーツ推進課	20
③ スポーツ施設整備事業	スポーツ推進課	21

## I 趣旨

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」において、各教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図り、住民への説明責任を果たしていくため、教育に関する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を毎年行うことになりました。

そのため、法改正の趣旨に鑑み、平成20年度から、目標管理制度において設定した教育委員会の重点事業について、自己点検及び自己評価を行い、上田市教育行政評価懇話会において、有識者から提言をいただいています。これらの評価の結果や懇話会における委員からの意見は、今後の教育に関する事業の改善に役立てていきます。

## II 上田市教育行政評価懇話会

平成23年度重点事業の評価の結果等について、有識者からの意見を聞くため、本年度は、6月26日、7月2日、8月1日の3回にわたって上田市教育行政評価懇話会を開催しました。

なお、委員には、上田市の教育に携わった経験があり、専門的な観点からの意見を期待できる次の7人に就任を依頼しました。

(敬称略)

氏名	略歴	備考
宮原 信一	元学校教育課指導主事、 元第四中学校長	座長
田村 保	西部公民館運営審議会委員、 元城南公民館長、元丸子中央小学校長	副座長
飯塚 義隆	さなだスポーツクラブ理事長	
関 泉	城南公民館運営審議会委員	
中村 京子	上田市PTA連合会副会長	
早坂 淳	長野大学社会福祉学部社会福祉学科講師	
宮島 江以子	元上田市教育委員長	

### Ⅲ 評価の方法

平成23年度重点事業の年度末における目標の達成状況について、AからDまでの4段階による評価を行いました。

#### 【総合評価】

ランク	内 容
A	目標を上回る成果があった。
B	目標どおりの成果があった。
C	目標未達成の部分があった。
D	全ての目標が未達成であった。

### Ⅳ 評価の結果及び懇話会の提言内容等

平成23年度重点事業の評価の結果及びこれに対する懇話会の提言内容等は、事業評価シートに記載のとおりです。

# 平成23年度 事業評価シート

1-①

<b>事業名</b>	学ぶ意欲を育む授業づくり	<b>担当課</b>	学校教育課
------------	--------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	中学校教員が小学校に出向いて授業を行うことで中学進学不安解消と学習意欲の向上を目指すとともに、教員の相互研修を行い授業改善につなげるため、中学校3校に専科教員を配置します。（検証のための児童アンケートを2回実施）		
<b>目標の達成状況</b>	<p>数学の専科教員を中学校に3人配置し、中学校の教員が小学校へ出向いて授業を実施しました。</p> <p>アンケート調査では、「算数の勉強は好きか。」「算数の授業はよくわかるか。」の質問に対して、「好き」「わかる」とする回答が1回目より2回目の方が多くなりました。このことから、中学校の教員の指導が児童の算数への興味意欲を高め、熱心な学習の取組につながったと考えます。</p> <p>また、中学進学への不安が減るなど中一ギャップ解消に一定の効果がありました。</p>		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>		<b>事業費 (千円)</b>
	小中連携教員の配置 (3人)		7,944
	児童アンケートの実施 (2回)		0

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	中学校の教員が小学校に出向き授業を行い、小学校の児童の学力向上につながったか、中一ギャップの解消に効果的であったかどうか、今後も継続して実施し、結果を検証していく必要があります。		
<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>委員からの意見</b>	<p>①中学校教員が小学校に出向いて行った授業は、わかりやすかったという評価を子どもたちから聞いています。特に、算数・数学は学年が上がることで、難度も高くなり、子どもたちの理解度にも格差が生まれてくるので、算数を選択したことは評価できます。</p> <p>また、子どもたちは、自信を持って取り組むことができる教科が一つでもできると、他の授業にも積極的に取り組むようになることから、できる限り多くの学校でこの取組が実施されることを期待します。</p> <p>②小学校では時間的制約がある中で、児童全体の学力の向上を図っていかなければならない状況にあります。また、中一ギャップは教科への不安のほかに、自立に対する不安も大きな要因になっています。このような状況があることから、中学校教員の専門性を生かして、小学校で授業を行う取組については、児童の関心を高めたという単発的な効果を求めるのではなく、具体的にどのような学習効果（学力の更なる向上もしくは学力の底上げ）があったのかを明確にして、取組の定着を図っていく必要があると考えます。</p> <p>③中学校教員が小学校に出向いて授業を行うことは、小学校教員の指導力の向上につながる取組です。この小中連携の取組を、小学校教員が幼稚園・保育園へ研修に行く、幼保小中連携の取組に発展されることを期待します。</p> <p>④中学校教員が小学校に出向いて授業を行うことに対する評価に加えて、真田地域で実施している文科省の事業である小学校体育活動コーディネーターについても評価されることを望みます。</p>	
	<b>意見に対する考え方</b>	<p>①現在、中学校教員が小学校に出向いて行っている授業は、算数が中心ですが、ALTなど英語においても同様の授業を行っています。この取組を他の小中学校へもできる限り、広げていきたいと考えます。</p> <p>②中学校教員による授業は、わかりやすいと児童は評価しており、この授業を参考として、他の多くの単元を担当する小学校教員が、児童によりわかりやすく教える力を身につけることが学力向上につながると考えます。また、教える中学校教員にとっても、小学校と中学校とのつながりを把握し、よりわかりやすい指導方法を研究する機会になっていると考えます。</p> <p>③幼稚園・保育園の先生がどのように園児と接しているか等を学ぶため、本年度夏休み期間中に全小学校の教員が幼稚園・保育園へ研修に行く予定です。</p> <p>④さなだスポーツクラブから、小学校体育授業へ指導者を派遣する事業が、23年度から行われています。この事業に関しても学校から報告書を提出してもらい、状況を把握したいと考えます。</p>	
<b>今後の方針等</b>	「学力向上」と「不登校対策」の課題に取り組むため、小中連携事業を継続してまいりたいと考えています。		

# 平成23年度 事業評価シート

1-②

<b>事業名</b>	きめ細やかな個に応じた指導の充実	<b>担当課</b>	学校教育課
------------	------------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	<p>不登校児童生徒と保護者支援のための「心の教室相談員」、特別な支援を必要とする児童生徒のための「特別支援教育支援員」を引き続き配置します。また、不登校傾向の中学生のための「巡回学習支援員」を配置します。（派遣日数150日×2人）</p> <p>発達障害相談に対応するため、発達相談センターと教育相談所の連携を図ります。（連携会議の開催年6回、支援会議の開催随時）</p> <p>全教職員対象のカウンセリングマインド研修を引き続き実施します。（4回実施、参加者数320人）</p>
-------------	---

<b>目標の達成状況</b>	<p>「心の教室相談員」を36校に37人、「特別支援教育支援員」を35校に56人配置したことに加え、「巡回学習支援員」2名を中学校とふれあい教室に派遣することにより個に応じた支援を進めました。また、発達障害等の子どもたちの対応について連携会議を12回開催し、研修や情報交換等を行いました。教職員に対しては、児童生徒を理解し適切に対応するためのカウンセリングマインド研修会を4回開催し、381人の参加実績を得ました。なお、今後の研修会に生かすため、アンケート調査を行い受講者の意見・要望を把握しました。</p>
----------------	--

<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費 (千円)</b>
	心の教室相談員事業	23,786
	特別支援教育支援員事業	42,242
	巡回学習支援員による学習支援事業	1,313
	発達支援連携会議（12回）	0
	カウンセリングマインド研修事業（4回）	90

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	<p>不登校の児童生徒は減ってきているとはいえ、学校には配慮が必要な多くの児童生徒が在籍しており、個に応じた支援体制を整え継続した支援をしていく必要があります。また、家庭や児童生徒の課題が複雑化しており、関係機関等との情報交換や個別支援などについて一層の連携が重要です。</p>
---------------	---

<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>委員からの意見</b>	<p>①特別な支援が必要な子どもや保護者に対して、発達相談センターと教育相談所が連携して、就学前の早い段階から相談に応じ、保護者や周囲も子どもの状況を理解していることは、子どもにとって非常によいことです。また、このような発達相談センターと教育相談所の連携など、本事業による効果も評価欄に追加し、積極的にPRしてもよいと考えます。</p> <p>②発達障害は複雑で繊細な問題であり、保護者が家庭に原因があると考えると逆効果になることもあります。保護者との信頼関係の醸成を含め、今後の発達相談センターと教育相談所との連携による取組に期待します。</p> <p>③不登校児童生徒は、学校に登校することはできるが、長期欠席による学習の遅れなどから同級生に迷惑をかけてしまうという思いから、教室に入ることができなかったという事例があります。不登校児童生徒（不登校傾向にある児童生徒を含む）の居場所を学校内に確保するため、特に上田市は相談室が充実しているので、これを居場所として活用することを望みます。</p> <p>④上田市は特別支援教育における体制が充実しており、最も評価できる取組の一つです。一方で、通常学級にも学習支援を必要とする児童生徒がおり、財源が必要なことだが、これら児童生徒への支援体制が充実されることを望みます。</p>
---------------------	----------------	---

<b>意見に対する考え方</b>	<p>①②発達相談センターと教育相談所のそれぞれの役割を広報していくことが重要と考えます。その上で早期発見・早期対応できるよう、これまで以上に連携を深めます。</p> <p>③ほとんどの学校には相談室がありますが、1日中利用できる状態ではありません。普段はクラスにいて、先生が来ると相談室に行き、1時間程度リフレッシュしてクラスへ戻るという児童生徒もいます。このことから相談室の機能の充実が重要であると考えます。</p> <p>④通常学級での学習等の支援については、特別支援教育支援員や巡回学習支援員を配置することにより、きめ細やかな個に応じた指導に努めています。</p>
------------------	--

<b>今後の方針等</b>	<p>不登校や特別に配慮が必要な児童生徒を支援するため、「心の教室相談員」及び「特別支援教育支援員」を引き続き配置していきます。幼児期から継続した支援体制を整え、保育・福祉など関係機関等と連携しきめ細やかな支援に努めます。</p> <p>上田地域定住自立圏共生ビジョンの取組により、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置します。</p>
---------------	--

## 平成23年度 事業評価シート

1-③

<b>事業名</b>	学校給食に関する基本計画の策定と実施	<b>担当課</b>	教育総務課
------------	--------------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	学校給食のあり方について、上田市学校給食運営審議会から答申を受けます。その後、上田市としての学校給食に関する基本的な計画を策定します。		
<b>目標の達成状況</b>	<p>最終答申に向けて、上田市学校給食運営審議会を2回開催し、6月7日に学校給食のあり方について答申を受けました。その後、上田市としての学校給食に関する基本的な計画を策定するために、5回にわたって庁内検討会議を開催し検討を進めました。</p> <p>更に慎重な検討が必要なことから、年度内に基本計画を策定することはできませんでしたが、24年度中の策定に向けて努力していきます。</p>		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費 (千円)</b>	
	上田市学校給食運営審議会の開催 (2回)	72	
	庁内検討会議の開催 (5回)	0	

<b>総合評価</b>	<b>C</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	学校給食が引き続き児童生徒の育成に資するよう、上田市における歴史的経過、現在求められている役割や現状と課題について改めて整理し、食育面や安全面で十分な効果が発揮でき、経費面で実現可能な計画を策定することが必要です。		
<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>委員からの意見</b>	<p>①より安全で安心できるおいしい学校給食を目指して、基本計画を早急に策定されることを期待します。</p> <p>②基本計画の策定に当たっては、食に関する指導における学校と家庭の役割分担、地場産物の活用の推進及び食事を皆で楽しむ観点についても検討されることを望みます。</p>	
<b>意見に対する考え方</b>	<p>①学校給食に関する基本計画には、上田市の学校給食が目指すべき基本理念を掲げ、この実現に向けて、「1 学校給食を活用した食に関する指導の充実」、「2 安全で安心できるおいしい学校給食の提供」、「3 適正な学校給食の運営の推進」の基本目標を設定する予定です。3つの基本目標における具体的な取組（方針）を定めるに当たっては、上田市の学校給食における歴史的経過や地域性を十分考慮するとともに、審議会からの答申内容も踏まえた上で検討を進め、なるべく早い段階で基本計画が策定できるよう鋭意努力します。</p> <p>②食に関する指導における学校と家庭の役割分担（連携）、地場産物の活用の推進及び食事を皆で楽しむ観点についても、学校給食を活用した食に関する指導の充実における取組等として、基本計画で触れるよう検討します。</p>		
<b>今後の方針等</b>	学校給食の充実に向けて、引き続き上田市の学校給食に関する基本計画の策定を目指します。		

# 平成23年度 事業評価シート

1-④

<b>事業名</b>	地域に信頼され、地域に開かれた学校づくり	<b>担当課</b>	学校教育課
------------	----------------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	学校評価の結果を保護者・地域住民に広報等でお知らせします。また、各学校の取組や学校評価シート作成及びホームページ掲載等を支援します。 学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）として浦里小学校を指定します。また、保護者や地域住民等の意向を学校運営に反映させるため、学校運営協議会の委員に対して研修を行います。（研修及び先進地視察各1回）		
<b>目標の達成状況</b>	学校評価の結果を学校ホームページや学校だより等でお知らせして地域への公表に努めています。また、学校に対して学校評価シート作成及びホームページ掲載等を支援しましたが、学校評価制度を広報等でわかりやすくお知らせすることができませんでした。 浦里小学校を学校運営協議会の設置校に指定しました。その後、協議会運営の向上のため、先進校（高崎市立北小学校）の視察研修と文科省による平成23年度「地域とともにある学校づくり」推進協議会（横浜会場）に参加しました。		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費 (千円)</b>	
	学校評価の実施（目標や評価項目等を設定し、その達成状況や取組について評価）		
	学校評価の公表（学校だより、学校HP等）		
	学校運営協議会の開催（9回）		139
	先進校（高崎市立北小学校）視察、文科省による「地域とともにある学校づくり」推進協議会参加		64

<b>総合評価</b>	<b>C</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	学校評価の結果と改善に向けての取組を引き続き保護者や地域住民にわかりやすく周知し、理解と参画を得ていく必要があります。 学校運営協議会の運営向上のため、引き続き助言・指導を行っていく必要があります。		
<b>上田市教育行政評価懇話会 委員からの意見</b>	①地域の行事に中学生などの若い世代が参画してもらおうと大変盛り上がります。同様に、コミュニティ・スクールのように、学校と地域が一体となって学校を運営していくことは、特色ある学校づくりを推進していく上で大切にしていきたい取組です。 ②学校評価のねらいは学校を活性化することにあるので、このような観点から評価項目を設定するとともに、評価の公表に当たっては、結果だけではなく、学校を応援したくなるよう、学校が取り組んでいる過程も公表することが必要です。 また、学校評価委員会に参加して感じたことだが、学校と教員の評価は、保護者と生徒の評価と比較して低い傾向でした。学校の特色をPRしていく意味でも、実施できている項目については、積極的な評価をしてもよいと考えます。		
	①学校と地域が一体となって学校を運営することで、学校が抱える課題を地域全体で考え、各地域の創意工夫を生かした特色ある教育を行うことにより地域に信頼される学校づくりを進めます。 ②各学校の独自性や地域の実情も踏まえた上で、学校が目指すべき重点目標を設定し、その目標に向けた評価項目を絞り込み学校評価を行うことにより、教育力の向上及び学校の活性化を図ります。学校評価の結果と学校としての改善に向けての取組をホームページ等で公表することで、地域住民の理解と参画を得ながら、学校・家庭・地域の連携協力による開かれた学校づくりを進めます。 また、積極的な学校評価に努め、「よりよい学校づくり」を進めます。		
<b>今後の方針等</b>	学校評価制度について、広報等でわかりやすくお知らせします。学校評価の結果と改善に向けての取組を積極的にHP等で公表することで、開かれた学校づくりを進めます。 学校運営協議会に対して、必要に応じて助言を行うとともに、委員に対して必要な研修等を行います。		



## 平成23年度 事業評価シート

2-①

事業名	小中学校施設耐震化事業	担当課	教育総務課
-----	-------------	-----	-------

当初目標	小中学校施設の耐震化事業を計画的に進めます。 ①耐震診断（二次診断）結果に基づいた耐震化整備計画の策定 ②校舎の耐震補強事業（塩尻小学校・川辺小学校・神科小学校・豊殿小学校・中塩田小学校・第四中学校 計6校・10棟実施）		
目標の達成状況	①当初予定どおり、6校10棟の校舎耐震補強工事を完了しました。 ②平成27年度完了予定の耐震補強で対応する校舎等の耐震化を前倒しして、平成24年度に完了させるよう耐震化整備計画を変更しました。 ③屋内運動場の非構造部材耐震化（主に照明・天井材・ガラスの落下防止）を平成24年度からの3年間で実施する整備計画を新たに策定しました。 ④当初実施予定の4校7棟に加えて、整備計画変更・新規策定による追加分も含めた耐震補強工事実施設計（11校18棟分）を実施しました。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	①6校10棟の校舎耐震補強工事の実施	49,003	
	②改築以外の耐震補強工事を平成24年度完了に整備計画を前倒し		
	③屋内運動場の非構造部材耐震化計画の策定（平成24～26年度）		
	④上記計画変更・計画策定を含めた実施設計	15,853	

総合評価	A
------	---

今後の課題等	耐震補強工事については夏休み期間中に集中的に工事を行うため、年度当初からの計画的な実施が必要です。 耐震化整備計画を最優先で進めるとともに、改築や大規模改造も含めた長期的な整備計画により、学校施設整備を行う必要があります。
上田市教育行政評価懇話会 委員からの意見	①児童生徒の安全確保を第一に考え、事業が進められていることを評価します。今後は、阪神・淡路大震災の際の火災による被害を教訓に、火災対策についても万全を期することを期待します。
意見に対する考え方	①耐震補強で対応する校舎等の耐震化は、平成24年度で完了する予定です。今後は屋内運動場の非構造部材耐震化を計画的に進めていきます。地震時の火災対策については、学校での避難訓練等の実施、屋内消火栓・消火器・防火戸等の消防設備保守点検を確実に行うなど、児童生徒の安全確保に努めていきます。
今後の方針等	耐震補強で対応する校舎等の耐震化を平成24年度で完了し、更に屋内運動場の非構造部材耐震化も計画的に実施し、早期の耐震化実現に努めます。

## 平成23年度 事業評価シート

2-②

<b>事業名</b>	小中学校施設整備事業	<b>担当課</b>	教育総務課
------------	------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	小中学校施設について計画的な整備を進めます。 ①塩田中学校改築事業 （屋内運動場23年9月竣工予定、屋外プール23年5月竣工予定） ②傍陽小学校1期工事(管理・普通教室棟 23年5月竣工予定)、 傍陽小学校2期工事(渡り廊下棟 24年3月の竣工目指し建設に着手) ③清明小学校屋内運動場改築事業(実施設計を24年3月末完了を目途に実施) ④第二中学校耐力度調査及び用地測量業務(24年3月末完了を目途に実施) 小中学校施設・設備について計画的な改修を行い、また、老朽箇所等への日常的な営繕の充実を図ります。		
<b>目標の達成状況</b>	①2カ年事業として実施していた塩田中学校の屋内運動場建設は9月に、プール建設は6月に竣工しました。 ②2カ年事業として実施していた傍陽小学校第1期工事は、予定どおり5月に竣工しました。また、第2期工事は3月に竣工しました。 ③清明小学校屋内運動場の実施設計業務委託は3月に完了しました。 ④第二中学校用地測量業務委託は10月に終了、耐力度調査は3月に完了しました。 ⑤学校施設の営繕は、111件の老朽箇所・故障箇所等の日常的な営繕工事を行い、教育環境の充実に努めています。		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費 (千円)</b>	
	①塩田中学校改築事業（屋内運動場・プール）	640,148	
	②傍陽小学校改築事業第1期（管理・普通教室棟）、第2期（渡廊下棟）	220,268	
	③清明小学校屋内運動場改築事業（実施設計業務委託）	14,756	
	④第二中学校改築事業（耐力度調査・用地測量業務委託）	7,575	
	⑤小中学校修繕費・営繕工事費	104,514	

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	耐震補強工事に対応できない施設については、総合的な観点から改築・改修などの整備方針を決定し、長期的な計画で施設整備を行う必要があります。 また、大規模な営繕工事は、夏休み期間中に集中するため、計画的な実施が必要となります。
<b>上田市教育行政評価懇話会 委員からの意見</b>	①トイレ整備により、快適性の向上が図られてきており、引き続き整備に努められることを期待します。あわせて、三階建校舎における最上階の暑さ対策の検討を望みます。 ②学校施設整備の工事中に、資材置き場として利用されていたグラウンドが荒れた状態で放置されていたことがあったことから、工事の際には留意されることを望みます。
<b>意見に対する考え方</b>	①トイレ改修については今後も計画的に整備を進め、快適性の向上に努めます。また、校舎の暑さ対策については、扇風機の設置等、学校と協議しながら検討していきたいと考えます。 ②通常は校庭以外の部分を資材置き場としますが、校庭を使用した場合には確実に現状復帰するよう、施工業者へ指示します。
<b>今後の方針等</b>	特に一般の営繕工事については学校との連絡を密にし、緊急性や安全性を最優先に考えながら計画的に実施し、安全で快適な教育施設整備に努めていきます。

## 平成23年度 事業評価シート

2-③

<b>事業名</b>	放課後児童クラブ施設整備事業	<b>担当課</b>	学校教育課
------------	----------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	塩川児童クラブの移転改修を実施します。（24年3月末完了を目途に実施）		
<b>目標の達成状況</b>	計画どおりに、塩川小学校の余裕教室への移転改修を実施し、クラブ室の拡大と専用の外便所の設置により、児童の保育環境が改善されました。		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費 (千円)</b>	
	塩川小学校余裕教室への移転改修 (教室一つをクラブ室に改修、外便所及びテラスの新設)	7,622	

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	他の放課後児童クラブの中にも老朽化や手狭になっている施設があり、計画的な整備が必要な状況です。
---------------	---

<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>委員からの意見</b>	<p>①施設面は充実してきたことから、管理面の充実が今後の課題です。例えば、学校の宿題が年々増える状況において、子どもたちが家庭学習をする習慣の形成を支援し、利用後は保護者とのコミュニケーションが図れるような取組を充実してほしいと考えます。</p> <p>②学校、放課後児童クラブ、家庭における児童の様子は各々違っています。特に、放課後児童クラブにおける活動は、学級担任にも見てもらいたいほど活発であり、その保育に当たっている指導員の熱心さに対して好感がもてます。</p> <p>③放課後児童クラブは受け入れ態勢が充実していることから、保護者が働きやすい環境づくりのためにも、より利用しやすい条件（自営業者の場合など）を検討されることを望みます。</p>
---------------------	----------------	---

<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>意見に対する考え方</b>	<p>①児童が放課後児童クラブに来所してから保護者が迎えに来るまで、家庭での生活と同様に安心して生活できる場を提供しています。児童は直ちに、学校で出された宿題に着手して終わらせ、その後は異年齢児童間での遊びを通して人との関わりづくりを学び、おやつを食べ、保護者の迎えを待つという生活習慣を形成しています。また、クラブでの普段の生活の様子や問題点等について、定期的に開催している保護者会の中で情報交換を行い、コミュニケーションの形成を図っています。</p> <p>②担任等がクラブを訪問して児童の様子を見たり、注意を要する児童がいる場合には、指導方針等をクラブの指導員に伝達するなど、日頃から学校との連携を図るようにしています。</p> <p>③就労等により児童が保育に欠ける場合に受け入れることとしており、就労の場合には就労証明書が必要になりますが、これ以外の理由として、求職や介護等、保育に欠ける状況が生じた場合には、積極的に児童を受け入れる対応をしています。今後も家庭における様々な状況に対応できるように入所条件の見直しを検討していきます。</p>
---------------------	------------------	--

<b>今後の方針等</b>	耐震診断を実施して優先順位を定めて、合併特例債の起債可能な期間内に整備を行ったり、冷房装置のない施設にエアコンを設置することにより、保育環境の改善を図って行きたいと考えています。
---------------	---

## 平成23年度 事業評価シート

3-①

<b>事業名</b>	市民参加と協働による文化芸術拠点の創造	<b>担当課</b>	文化振興課
------------	---------------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	交流・文化施設建設を地域文化の更なる向上につなげていくため、(仮称) 交流・文化施設利用者団体協議会を平成23年度の早期に立ち上げ、市民活動を促すための環境づくりや情報交換の場づくりに取り組みます。		
<b>目標の達成状況</b>	交流・文化施設利用者団体協議会準備会の立ち上げや芸術文化及び教育関係団体との懇談会を実施したことにより、上田市において芸術文化活動に携わっている方たちとのきめ細かな意見交換の場を創造することができ、交流・文化施設の建設や運営に役立つ要望や期待を聴取することができました。また、今後、各団体との様々な連絡調整を進めていくうえで基本的な枠組を構築することができました。		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費 (千円)</b>	
	交流・文化施設利用者団体協議会準備会の立ち上げ (5月)	0	
	農民美術団体との懇談 (8月)	0	
	小県上田教育会との懇談 (8月)	0	
	山本鼎の会との懇談 (9月)	0	
	市内写真クラブとの懇談 (9月)	0	

<b>総合評価</b>	<b>B</b>		
<b>今後の課題等</b>	交流・文化施設の運営管理計画に沿って、より具体的な連携を利用者団体等と進める必要があります。		
<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>委員からの意見</b>	<p>①山本鼎の提唱した自由画教育の発祥の地として、交流・文化施設が子どもたちの絵画の育成の場となること、また、体験ができる施設として、多くの人に利用されることを期待します。</p> <p>②交流・文化施設の来館者に、農民美術などへの関心をもってもらえるよう、展示に対する紹介(解説)が充実されることを期待します。</p> <p>③交流・文化施設の完成に対する市民の期待は高く、市内外から多くの人に来館してもらえるよう、また、運営の持続性が図れるよう、上田市に古くからある美術・芸術を大事にしつつ、新しい分野を開拓すること、ミュージアムショップの充実、又は上田市でしか鑑賞できない美術作品の展示などを検討されることを期待します。</p>	
	<b>意見に対する考え方</b>	<p>①交流・文化施設の美術館においては、子どもアトリエの整備を進めており、運営管理においても「郷土作家の精神を生かした、子どもたちをともに育成する」を事業方針の一つに掲げ、市民団体との連携による事業展開を考えています。</p> <p>②「郷土作家の顕彰・企画展示」についても、事業方針の一つとしており、山本鼎の常設展示をはじめ、企画展の開催等、展示内容の充実に努めます。</p> <p>③交流・文化施設は、市民参加と協働による施設運営を目指しており、芸術との出会いの空間となり、創造性を高め、参加・体験できる施設となるよう事業展開を図ります。</p>	
<b>今後の方針等</b>	利用者団体との連携を今後一層図るため、引き続き意見交換の場づくりを進め、交流・文化施設の市民参加と協働による運営管理を目指します。		

## 平成23年度 事業評価シート

3-②

<b>事業名</b>	子どもたちと文化芸術との出会いの場づくり	<b>担当課</b>	文化振興課
------------	----------------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	<p>市民や団体と連携し、子どもたちと文化芸術との出会いの場を数多くつくっていきます。</p> <p>①「芸術家学校派遣事業」6月、7月、9月、12月に計6回実施予定                  ②「能楽講座」6月募集、8月実施                  ③「子ども文化講座」7月募集、9月実施</p>
-------------	--

<b>目標の達成状況</b>	<p>学校芸術家派遣事業を6月、7月、9月、12月に6回開催し、約970名の児童生徒が能楽、クラシック、落語、オペラに触れる機会を設けました。</p> <p>能楽講座は上田城跡能にあわせて8月に実施し、4名の児童生徒が能楽体験に参加し、約200名の聴講者がありました。</p> <p>子ども文化講座を9月に開催し、小中学生等約60名が参加しました。参加した子どもたちは、舞台の仕組、照明や音響などについて学びました。</p>
----------------	--

<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費 (千円)</b>
	芸術家学校派遣事業 (6回)	667
	能楽講座 (1回)	200
	子ども文化講座 (1回)	55

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	<p>将来を担う子どもたちが一流の芸術に触れ、豊かな情操が育まれるためには、継続した取組が必要であるとともに、さまざまな分野の芸術に触れる機会を設けることが必要です。</p>
---------------	---

<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>委員からの意見</b>	<p>①学校芸術家派遣事業は、子どもたちの感性を磨くことができる事業であり、学校や子どもたちの評価も高いことから、事業の継続を期待します。</p> <p>②学校芸術家派遣事業は、学校の希望によって開催が決まることから、より多くの児童生徒が一流の芸術に触れることができるよう、希望実績のない学校には積極的に働きかけていく必要があります。例えば、国語と落語、音楽とオペラなどのように、本事業が学校における教育活動を豊かにする視点から、事業の周知を図っていくことも考えられます。</p> <p>③学校芸術家派遣事業においては、触れたい芸術を子どもたちから提案させることも一つの方法であると考えます。これによって、子どもの頃から文化振興に参画してきたという意識を生み、将来的には前頁に掲げる市民参加と協働につながっていくものと期待します。</p> <p>④伝統文化の育成や伝統文化に対する子どもの関心を高める観点から、地域の伝統文化（例：保野のささら、房山獅子、仁古田の神楽）を学校芸術家派遣事業に活用することも考えられます。</p> <p>⑤子ども文化講座は、積極的に周知を行うとともに、開催日の設定をはじめとして、内容についても、多くの子どもたちが参加できるように工夫してきているが、参加者が増えてこないことが課題となっています。</p> <p>⑥文化芸術に触れる機会を設けたことが、文化芸術との出会いの場づくりという目標の達成には必ずしもつながらないので、子どもたちが一流の芸術に触れたことで感動した感想などを記載することで、目標に沿った評価になると考えます。</p>
---------------------	----------------	---

<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>意見に対する考え方</b>	<p>①学校芸術家派遣事業については、交流・文化施設の整備により新たなアウトリーチ活動が可能になり、事業の拡充が図れると考えています。</p> <p>②芸術家の学校派遣については、過去に実績のない学校を優先して行っていますが、事業がスタートして年数が浅いことから、ようやく希望する学校が増えてきたところです。今後も、積極的な働きかけに努めます。</p> <p>③触れたい芸術の子どもたちからの提案については、今後、検討してまいります。</p> <p>④地域の伝統文化の継承は重要なことと考えていますが、芸術家派遣は子どもたちに一流の芸術に触れる機会を提供することを目的に行っていることから、伝統文化については別の視点での事業展開を検討していきます。</p> <p>⑤子ども文化講座は文化少年団の主催により行っていますが、加入の有無に関わらず広く募集しており、今後も周知に努めます。</p> <p>⑥子どもたちと芸術との出会いの場づくりにおいて、子どもたちが感じたことを把握することは重要な観点であると考えておりますので、アンケート調査などにより把握に努めます。</p>
---------------------	------------------	--

<b>今後の方針等</b>	<p>これまで行っていない分野の芸術家を派遣するなど、アウトリーチ活動の充実を図るとともに、市民会館等を活用して子どもたちが芸術鑑賞・体験する機会を拡大します。</p>
---------------	--

## 平成23年度 事業評価シート

3-③

<b>事業名</b>	史跡等整備事業	<b>担当課</b>	文化振興課
------------	---------	------------	-------

<b>当初目標</b>	史跡等の整備を推進し、無形民俗文化財等の保護・継承を図ります。 ①史跡上田城跡保存管理計画の策定（検討委員会を3回開催し、3月に策定） ②信濃国分寺跡の史跡公園用地の取得（350㎡）（6月土地鑑定、8月用地協議開始、11月契約、3月支払） ③信濃国分寺跡発掘調査（1,000㎡）（6月現地調査、3月に報告書刊行） ④文化財の保護・継承に関わる取組（10月までに文化財所有者との保護方法等についての協議、11月次年度助成申請書提出、3月末に今年度分の助成）		
<b>目標の達成状況</b>	史跡整備を推進し、無形文化財の保護・継承を図りました。 ①「史跡上田城跡整備実施計画検討委員会」を開催し、「保存管理計画」の策定等を行い、適切な保存管理と整備の方針を定めました。 ②上田城跡の櫓等復元のための資料収集を行いました。 ③民有地を1件取得し、史跡信濃国分寺保護範囲を広げました。 ④信濃国分寺跡の発掘調査を実施し、整備に必要な情報を得ました。 ⑤県宝倉沢家住宅表門及び主屋下屋改修工事を実施し保護策を講じました。 ⑥無形民俗文化財については、補助金を交付して後継者育成の支援を図りました。		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>		<b>事業費 (千円)</b>
	信濃国分寺跡整備事業（史跡公園用地購入）		38,872
	信濃国分寺跡整備事業（発掘調査）		8,000
	「史跡上田城跡保存管理計画」等の策定と計画書の刊行		275
	国宝安楽寺八角三重塔保存修理工事補助事業		3,000
	県宝倉沢家住宅門及び主屋下屋改修工事		560

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	上田城跡は、後世に継承するために「整備基本計画」に基づいて必要な整備事業を行ってきましたが、更に史跡の適切な保存管理の方針を定めた「保存管理計画」を策定しました。これらの計画に基づいて利用のしやすさに配慮しつつ、史実に基づいた整備を進めていく必要があります。信濃国分寺跡については、地域住民の理解と協力をいただき、公園用地の土地取得を進めました。整備方法については、取得した土地の発掘調査の成果をもとに、実施計画を策定し整備を進めていく必要があります。		
<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>委員からの意見</b>	①上田城跡公園は学術研究の場であるとともに、市民の憩いの場でもあります。多くの市民に利用してもらえよう、史跡内における説明看板の充実、駐車場所の確保と駐車場に至るまでの案内表示をわかりやすくすることが望まれます。	
<b>今後の方針等</b>	<b>意見に対する考え方</b>	①平成23年度策定の「史跡上田城跡保存管理計画」の基本方針に「市民の憩いの場としての整備・活用」について定めています。史跡の本質的な価値を形成する「櫓、石垣、堀、地下遺構等」の保存のほか、都市公園としての役割にも配慮し、市民や観光客に親しまれる整備を目指します。説明表示等については、デザインにも配慮し、城跡公園の訪問者に城郭構造がよりわかりやすくなるよう充実を図ります。駐車場については、関係部局とも協議し、史跡付近に確保できるよう検討していきます。その際にはわかりやすい所在地の案内表示に努めます。	
<b>今後の方針等</b>	上田城跡については、「保存管理計画」・「整備基本計画」に関して上田城跡整備関係機関との協議及び市民への周知を図り、これらの「計画」に沿って、保存・管理と整備を進めます。信濃国分寺跡については「史跡信濃国分寺跡保存整備基本計画」に基づいた史跡公園用地の土地取得を引き続き進めます。また、取得した土地については、発掘調査を行い今後の整備の資料とします。		

## 平成23年度 事業評価シート

3-④

<b>事業名</b>	博物館における学習機会の提供	<b>担当課</b>	博物館
------------	----------------	------------	-----

<b>当初目標</b>	郷土の文化・歴史、偉人の業績をテーマとした特別展や講座のほか、トリエンナーレ「山本鼎版画大賞展作品展覧会」を開催します。（市立博物館6、山本鼎記念館13、信濃国分寺資料館9、ともしび博物館8の特別展や講座等を開催）		
<b>目標の達成状況</b>	特別展・企画展として、上田市立博物館で「藩主松平氏の遺品」、信濃国分寺資料館で「上田地方の古代・中世の神社と寺院」、山本鼎記念館で第5回山本鼎版画大賞展を実施するとともに「未踏の地平へ～100年後の創作版画たち」などを開催し、地域の文化・歴史に触れる機会を創出しました。（上田市立博物館6、山本鼎記念館14、信濃国分寺資料館9、ともしび博物館8の企画展、特別展、講座を実施）		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費 (千円)</b>	
	企画展「藩主松平氏の遺品」（会期中入館者8,258人）	173	
	特別展「上田地方の古代・中世の神社と寺院」（会期中入館者1,439人）	650	
	第5回山本鼎版画大賞展（応募数412点 展覧会入館者1,502人）	4,790	
	上記以外に、各施設において企画展、講座等を開催		

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	引き続き、お城と戦国武将ブームによる相乗効果から、上田城並びに真田氏ゆかりの上田地域を訪ねる多くの方々に市立博物館へ入館していただいています。 各施設の講座は継続的に実施されており、郷土の歴史や文化を継承し学習機会の充実を目指しています。各講座とも受講定員を上回るものが多いものの、新しい受講者を獲得するために、新たなテーマ・内容による講座を考える必要があります。
<b>上田市教育行政評価懇話会 委員からの意見</b>	①施設が老朽化してきているにも関わらず、企画展の充実により、多くの入館者数を確保できていることを評価します。明るく、入館しやすい、ゆとりのある博物館が今後整備されれば、更に入館者が増加するものと期待します。 ②多くの子どもたちが博物館等に来館し、郷土の歴史や文化について学んでもらうためには、まずは学校が博物館等に関心を持つよう働きかけていく必要があると考えます。
<b>意見に対する考え方</b>	①施設整備にあたっては、明るく・入館しやすいことやゆとりのあることも考慮したリニューアルを考えます。 ②学校出張歴史体験教室を開催するとともに、郷土を知る授業の中でわからなかったことについて、インターネットを活用して質疑回答のやりとりを行っています。また、子どもたちが博物館に直接話しを聞きに来た際には、実物を使って解説しています。
<b>今後の方針等</b>	常設展、展覧会、講座等の内容を市民のニーズにあった魅力あるものとし、各施設へのリピーターと各講座等への新たな参加者の増加に努めます。

## 平成23年度 事業評価シート

4-①

<b>事業名</b>	社会教育施設整備事業	<b>担当課</b>	生涯学習課
------------	------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	城南公民館と丸子図書館の建設を23年度中に進めます。		
<b>目標の達成状況</b>	本年度予定していたすべての工事等に着手し、年度内に竣工することができ、社会教育・生涯学習の拠点となる施設整備を計画どおり進めることができました。		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>		<b>事業費 (千円)</b>
	城南公民館用地購入（建物等移転補償費 等を含む）		110,086
	城南公民館建替工事（建築主体・電気設備・給排水設備 等）		364,021
	丸子図書館整備工事（建築主体・電気設備・給排水設備 等）		491,735
	丸子図書館外構工事		9,980
	丸子図書館備品購入		7,364

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	城南公民館は新館（本館部分）を24年4月に開館したことから、関連事業として計上している工芸棟建設工事をはじめ、現施設の解体及び外構工事について、施設利用者の安全に最大限配慮しつつ、計画的に整備を進める必要があります。
<b>委員からの意見</b>	<p>①城南公民館の建替は、敷地面積の制約があるにも関わらず、必要な施設・設備が無駄なく整備できており、今後の公民館整備の手本にされることを望みます。</p> <p>②公民館や図書館の整備が進んできたことから、これらの活用のあり方が今後の課題です。例えば、公民館については、地域住民に各館の特徴を生かした学習の機会（例：上野ヶ丘・・・子育て、塩田・・・地域づくり、丸子・・・文化芸術、真田・・・教養）を提供していくこと、図書館については、学校との連携も含め、子どもたちが気軽に立ち寄ることができる環境づくりをしていくことが考えられます。</p>
<b>意見に対する考え方</b>	<p>①城南公民館整備に当たっては、職員だけでなく「建設検討委員会」などで設計内容等を協議しながら進めてきた結果であると考えます。整備手法を今後に生かしていきます。</p> <p>②公民館については引き続き、地域の課題や住民の生活課題をテーマとした学びの機会を設けていきます。図書館については引き続き、学校や子どもたちとの連携を図っていきます。</p>
<b>今後の方針等</b>	城南公民館については、24年12月28日までの竣工を目指します。 丸子図書館については、24年5月1日から開館しています。 利用者等からの城南公民館整備結果評価をもとに、今後の公民館整備に生かします。



## 平成23年度 事業評価シート

4-②

事業名	地域が学校を支援する事業	担当課	生涯学習課
-----	--------------	-----	-------

当初目標	塩田中学校を対象として学校支援地域本部事業を継続して実施します。その他の学校については、学校を支援する学社融合事業が広がるように努め、様々な形で取り組めるようにします。		
目標の達成状況	<p>国の委託を受けて、平成20年度から3カ年間運営してきた塩田地域学校支援運営協議会（学校支援地域本部）を市の単独事業として継続運営し、平成23年度から支援項目に「スポーツ・文化支援」のメニューを加えました。</p> <p>また、学校支援に関する先進地視察をはじめ、市内関係機関との研究・協議を重ねましたが、学校の個別なニーズを具体的に把握し、支援する段階には至りませんでした。</p>		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	塩田地域学校支援運営協議会（学校支援地域本部）を市の単独事業として運営		0
	学校支援に関する先進地視察、市内学校参観（社会教育委員及び公民館関係職員）		230
	コーディネーターとしての役割が期待される公民館との研究・協議の実施		0

総合評価	C
------	---

今後の課題等	<p>学校支援地域本部の導入については、学校側の負担感が感じられることから、実施可能な事業を学校と地域双方でマッチングさせる柔軟な仕組を考えていく必要があります。</p> <p>24年度においては、社会教育としてのキャリア教育支援（職場体験学習）の拡充について、関係機関と連携して取り組む計画であり、その過程で学校支援についても新たな展開が図れるものと考えています。</p>
上田市教育行政評価懇話会 委員からの意見	<p>①学校支援地域本部事業が他地域に拡大していかない理由は、地域主体による支援として、学校側に負担感があるためであるが、学校と地域が一体となり、子どもたちを支援できる体制づくりに見直していく必要があります。そのためには、学校教育と社会教育の連携が不可欠であるとともに、学校単位で「学校地域連絡協議会」を設置し、学校と地域の情報交換が行われることを期待します。</p> <p>②学校支援地域本部事業が成果を上げるためには、学校が地域に開かれた学校づくりについて関心を持つことと、学校と地域をつなぐコーディネーターを育成することが必要です。</p>
意見に対する考え方	<p>①学校を含め、青少年育成に係る地域の関係団体が、学校と地域の情報、青少年育成に関する課題の共有化を図れるよう、第一段階として、すべての公民館地区における「協議会」の組織化に努めます。</p> <p>②コーディネーターの役割が重要であることから、各教育機関と連携を図り、コーディネーターの育成について検討していきます。</p>
今後の方針等	<p>学校の個別ニーズを把握するため、学校との情報交換の機会を増やし、情報の共有化や学校と社会教育機関の信頼関係の構築に努めます。あわせて、上田市ものづくり・キャリア教育推進検討委員会との連携により、中学生の職場体験学習の拡充について支援します。</p> <p>西部公民館では、第三中学校の環境整備をするための人材育成に24年度から取り組む予定です。</p> <p>今後、子どもの学びと育成を支援するため、すべての公民館地区ごとに地域内の青少年育成関係団体が連携する「協議会」を組織化します。</p>

## 平成23年度 事業評価シート

4-③

<b>事業名</b>	青少年健全育成の推進	<b>担当課</b>	生涯学習課
------------	------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	子どものメディア接触による影響と課題を理解し、家庭教育として取り組めるよう、地域で10回程度の学習会を開催するなどの啓発活動を推進します。また、啓発用のチラシ等を作成し、小中学校を通じて保護者に配布します。		
<b>目標の達成状況</b>	<p>「情報メディアと生活習慣」をテーマにした全市的な講演会を6月に開催し、280人が参加しました。各地域では、分館の自治会懇談会やブロック懇談会などで合計20回の学習会を開催し、530人が参加しました。</p> <p>メディアコントロールできる子どもたちを家庭で育成するために、市内小中学校全校に保護者宛の啓発用リーフレットを配布しました。</p>		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>		<b>事業費 (千円)</b>
	「情報メディアと生活習慣」講演会を開催 (6/2)		20
	「青少年育成自治会懇談会」「青少年育成地区集会」等でのメディア関係講座等の開催		0
	保護者用啓発リーフレット作成		118

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	<p>情報化社会の進行により、子どもたちを取り巻く環境は日々変化しています。ネットの危険性を学んだことがある保護者は、子どもの携帯電話等の使い方について注意を払う傾向があることから、今後も保護者を対象にあらゆる機会を利用して、メディア接触による影響などの問題について啓発活動を継続していく必要があります。さらに、より効果的な啓発方法について検討する必要があります。</p>		
<b>委員からの意見</b>	<p>①子どもによるネットと携帯電話の利用は、技術的に保護者が手に負えないこともあり、実際にトラブルが起きている状況です。トラブルを回避するためには、保護者や子どもにネットや携帯電話の利用の危険性を周知するとともに、学校と連携して、子どもたちが自律的にメディアコントロールできる力を身に付けていく必要があります</p> <p>あわせて、子どもたちが孤独感を抱えないよう、コミュニケーションが図れる環境づくりを進めていくことも必要です。</p> <p>②保護者用啓発リーフレットは、ネット等を頻繁に利用しない保護者向けに作成されたものと推測するが、文字情報が多すぎて理解できないと考えられるので、困ったときの相談窓口を強調するなど、焦点を絞った方がよいと考えます。</p>		
<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>意見に対する考え方</b>	<p>①引き続き学校や家庭における啓発活動に努めます。</p> <p>②今後も様々な立場の方々から意見をいただき、リーフレットを作成していきます。</p>	
<b>今後の方針等</b>	<p>引き続き、学校や家庭における啓発活動に努めるとともに、啓発の手段・方法についても検討を重ねてまいります。</p>		

## 平成23年度 事業評価シート

4-④

<b>事業名</b>	人権同和教育推進事業	<b>担当課</b>	生涯学習課
------------	------------	------------	-------

<b>当初目標</b>	人権同和教育では、更なる人権意識の高揚に向け、人権意識が具体的な態度や行動に現れるよう、多様な機会に講演会・研修会を実施するとともに、事業の進捗状況を検証します。講演会200回・参加者数16,000人、研修会500回・参加者数15,000人を年間の目標とします。		
<b>目標の達成状況</b>	人権同和教育では、人権同和教育の基本方針に基づき、多様な機会に学校、地域、団体、企業等全体で講演会を250回開催し16,500人参加、研修会を520回開催し16,000人参加、それぞれ年間目標値を達成しました。		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費 (千円)</b>	
	学校人権同和教育の推進	3,950	
	地域人権同和教育の推進	4,423	
	社会教育関係団体等人権同和教育の推進	1,576	
	企業人権教育の推進	200	
	人権啓発市民団体への支援	0	

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	学校、地域、職域、市民団体等が人権同和教育学習会や人権啓発活動等に積極的に取り組めるよう事業の推進と支援を行いました。目標数値を上回る講演会や研修会を開催し、人権意識の高揚が図られるなど一定の成果がありました。差別解消に向けての行動に直接結びつけられるような学習、啓発事業を展開する必要があります。
<b>上田市教育行政評価懇話会 委員からの意見</b>	<p>①雇用・就職に関する差別や高齢者・災害被害者に対する差別など、生活格差による差別が最近の傾向です。この差別における傾向を把握して、話題の提供ができる指導者が求められています。したがって、社会教育指導員に対する研修を充実させ、その指導力を高めていく必要があると考えます。</p> <p>②以前に自治会の懇談会に参加してみて、参加した世代とテーマが合致していなかった印象を受けたことがあるので、参加者に応じたテーマ設定が必要であると考えます。</p>
<b>意見に対する考え方</b>	<p>①社会教育指導員の指導力向上のため、独自に開催している研修会の内容の充実を図るとともに、東信教育事務所や県教育委員会等が開催する研修会へ参加することを推奨していますが、これらの研修会に必ず参加するよう指導していきます。</p> <p>②自治会（分館）人権同和教育懇談会については、参加者に合ったテーマ設定ができるよう、各公民館及び地域の人権同和教育推進員と連携して進めていきます。</p>
<b>今後の方針等</b>	現在の基本方針については、24年度が最終年度となることから、基本方針の見直しや意識調査の実施など、今後の人権同和教育のあり方の検討を行い、課題解決に向けた取組を進めます。

## 平成23年度 事業評価シート

4-⑤

事業名	生涯学習情報の一元化の推進	担当課	生涯学習課
-----	---------------	-----	-------

当初目標	市民に提供する生涯学習情報を生涯学習課で一元的に管理することを目指し、第一段階として、社会教育関係団体の情報の一元化を進めます。これにより、社会教育機関以外でも情報が提供できるようにします。		
目標の達成状況	社会教育関係団体情報の一元化に向け、その基盤となる生涯学習課及び公民館9館のホームページの一部をリニューアルし、掲載情報の整理と画面整備を進めましたが、人材情報や学習情報の集約システムについては現在構築中であり、未達成の状況です。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	公民館と連携しプロジェクトチームを発足し、研究・整備に着手	0	
	社会教育関係（生涯学習課及び公民館）のホームページの一部をリニューアル	0	

総合評価	C
------	---

今後の課題等	本事業は市のホームページの活用を前提としており、庁内全体の情報提供方法に係ることから、関係部局との緊密な連携を図るとともに、第二次上田市情報化基本計画へ位置付けることが必要です。
上田市教育行政評価懇話会 委員からの意見	①生涯学習情報の一元化によって、カルチャー情報の発信に偏ることが懸念されます。各公民館は地域力を育てる活動に取り組んでいるので、公民館の本来の目的や役割を根本に据えて、一元化を推進されることを期待します。
意見に対する考え方	①まずは第一段階として、市民が教育機関のあらゆる生涯学習情報を容易に入手できることを目指します。
今後の方針等	第二次上田市情報化基本計画のアクションプログラムの中に本事業を位置付け、計画的に段階を踏みながら、総合的な一元化（ワンストップ・サービス化）に向けて作業を進めていきます。

## 平成23年度 事業評価シート

5-①

<b>事業名</b>	生涯スポーツ活動の推進	<b>担当課</b>	スポーツ推進課
------------	-------------	------------	---------

<b>当初目標</b>	<p>上田市スポーツ振興計画に基づき、計画推進のための市民のスポーツに対する意向調査や市内で行われているスポーツ活動、スポーツ合宿等の実態調査を行います。</p> <p>3体育協会（上田・丸子・真田町）がひとつとなり、スポーツ少年団を含めた各スポーツ団体の核として、生涯スポーツの推進、競技力の向上を図るため、24年4月1日の3体育協会の組織統合に向けた支援を行います。</p>		
<b>目標の達成状況</b>	<p>市民アンケート（市内20歳以上2,000人対象・回答率36.0%）、中学校部活動状況調査を実施し、市民のニーズや学校部活動に関する基礎資料を作成することができました。</p> <p>市内3体育協会の組織統合について、4月1日の仮調印式後、8回の関係会議を開催しました。また、12月17日に統合基本協定調印式を行い、24年4月1日の組織統合が正式決定し、スポーツ団体の核となる体育協会の組織整備、強化が図られました。</p>		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費</b>	<b>(千円)</b>
	スポーツに関する市民アンケートの実施（市内20歳以上2,000人）	420	
	市内中学校部活動状況調査の実施（市内12校）	0	
	市内3体育協会調整会議、仮調印式、統合協定調印式の実施	0	

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	<p>市民アンケート結果等を基に、今後の事業に市民の声を反映していくための結果の分析や事業の見直し等が必要です。</p> <p>組織統合された体育協会について、統合によるスケールメリットや各地域の特色を生かした事業を推進するための支援が必要です。</p>
<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<p><b>委員からの意見</b></p> <p>①市民アンケート等の実施により、スポーツに対する市民のニーズや課題を把握することができたと考えます。今後は、アンケート結果を踏まえて、上田市スポーツ振興計画に掲げる事業の推進や、中学校部活動も視野に入れた社会体育のあり方について検討されることを期待します。</p> <p><b>意見に対する考え方</b></p> <p>①スポーツ団体等と相談しながら、気軽にスポーツに親しめることができるよう情報発信に努めていきます。また、中学校部活動と社会体育のあり方については、部活動の位置付けが明確になった段階で検討していきたいと考えます。</p>
<b>今後の方針等</b>	<p>「上田市スポーツ振興計画」に基づき、市民アンケート等により得た市民の声を事業に反映できるように、事業の見直しを行います。また、市民のスポーツ実施率（23年度アンケート結果33.5%）の向上を図るため、スポーツに親しむための情報発信に努めます。</p> <p>行政とスポーツ団体等との連携を図るため、核となる体育協会との連携、協働を更に進めます。</p>

## 平成23年度 事業評価シート

5-②

<b>事業名</b>	総合型地域スポーツクラブ支援事業	<b>担当課</b>	スポーツ推進課
------------	------------------	------------	---------

<b>当初目標</b>	市内5つの総合型地域スポーツクラブの合同会議を開催し、活動を広く知ってもらうための情報提供（広報うえだへの掲載、チラシの配布）や合同で開催する事業を企画し、市民が気軽に参加できるスポーツ機会の拡充を図ります。		
<b>目標の達成状況</b>	スポーツクラブ設立後5年間の活動補助を交付し、クラブの運営を支援しました。（クラブUSC） 各スポーツクラブの活動を行政チャンネルを活用し、広く市民に紹介しました。また、各スポーツクラブの実施事業について、「広報うえだ」で参加者の募集を行い、事業参加者及び会員増加に努めました。（21事業） 各スポーツクラブと行政との合同会議を開催し、情報交換や情報の共有化を図りました。（2回開催）		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費 (千円)</b>	
	うえだ総合型地域スポーツクラブUSC補助金（20年～24年）	2,000	
	スポーツクラブ合同会議の開催（2回）	0	
	行政チャンネルでのスポーツクラブの紹介	0	
	各種事業の「広報うえだ」での参加者募集	0	

<b>総合評価</b>	<b>B</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	市民のスポーツに関するアンケートで、総合型地域スポーツクラブを「知らない」という回答が63.6%あり、スポーツクラブの活動や市民がスポーツに気軽に親しめる場としての役割を広く周知していく必要があります。 各スポーツクラブが個々に活動するだけでなく、情報の共有化を図るなど、連携した啓発活動や事業開催等について、支援していく必要があります。
<b>上田市教育行政評価懇話会 委員からの意見</b>	①総合型地域スポーツクラブに対する補助金による支援について、必ずしも5年に限定するのではなく、各クラブの地域への貢献度や自立の状況を把握しながら、長短を設けることで、地域のスポーツ振興につながっていくと考えます。 ②総合型地域スポーツクラブの認知度が低い状況において、市の広報による周知は有用であり、今後も継続して実施されることを望みます。
<b>意見に対する考え</b>	①総合型地域スポーツクラブの実態を把握しながら、必要な支援を行っていきたいと考えます。 ②市の広報も活用しつつ、それ以外の方法についても検討していきたいと考えます。
<b>今後の方針等</b>	各スポーツクラブと行政との連携、協働を一層図り、情報交換のための合同会議の開催や各種事業の市民への参加拡大、会員増加につながる広報活動などを行い、総合型地域スポーツクラブの継続した運営のための支援を強化します。

## 平成23年度 事業評価シート

5-③

<b>事業名</b>	スポーツ施設整備事業	<b>担当課</b>	スポーツ推進課
------------	------------	------------	---------

<b>当初目標</b>	市民が安心して各施設を利用できるよう、必要な整備を計画的に進めます。 ①市民の森わしば山荘のあり方等について、地元協議やアンケートを行い検討を進めます。 ②染屋台多目的グラウンドの芝生養生期間中に、管理棟、収納庫、放送設備等を整備し、10月に供用を開始します。 体育施設利用料金等の統一について、内部調整後できるだけ早期に条例を改正し、住民周知を行います。あわせて、減免に関する見直しについて、各種スポーツ団体に説明を行います。		
<b>目標の達成状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備については、当初予定した事業を行うことができました。</li> <li>・検討事項については、具体的な方針の策定に至りませんでした。</li> <li>・体育施設利用料金等については、統一に至りませんでした。</li> <li>・学校体育施設の開放については、地域別利用者会議を開催及び各学校との連絡を密に行い、事業の推進を図ることができました。</li> </ul>		
<b>具体的な取組</b>	<b>実施状況</b>	<b>事業費</b>	<b>(千円)</b>
	主な施設整備 (2,000千円以上) 染屋台多目的グラウンド収納庫建設工事 (2,835)、アクアプラザ上田屋外給湯管布設替工事 (6,101)、依田窪プールろ過装置ほか更新工事 (5,754)、上田市真田運動公園ランニングコース改修工事 (18,396)、ふれあいさなだ館屋内消火栓駆動用蓄電池交換修繕工事 (2,258)、バスケットボールコート改修工事※市内体育館17コート分 (2,482)		
	市民の森わしば山荘について地元との検討会を開催	0	
	体育施設のあり方について検討会を開催	0	
	学校体育施設の開放	0	

<b>総合評価</b>	<b>C</b>
-------------	----------

<b>今後の課題等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断及び補強の実施</li> <li>・施設整備改修の計画的な推進</li> <li>・スポーツ振興計画に沿った施設整備の実現 施設整備の基本構想、計画の策定</li> <li>・施設のあり方等検討の継続、方針の作成</li> </ul>		
<b>上田市教育行政評価懇話会</b>	<b>委員からの意見</b>	①スポーツ施設の改修等に当たっては、体育協会、スポーツクラブ及び地域住民に意見を聴取するなど、市民の利便性を考慮して、計画的に整備されることを望みます。 ②限られた予算の中で、スポーツ施設を整備していくためには、スポーツ振興くじ助成を積極的に活用してほしいと考えます。	
<b>今後の方針等</b>	<b>意見に対する考え方</b>	①スポーツ施設全般にわたって老朽化が進んでいることから、将来的な施設整備の展望を持って計画的に実施していく必要があります。各種団体や関係者及び審議会の意見を聞きながら、施設整備の計画をまとめていきたいと考えます。 ②全市にわたってのスポーツ施設整備は予算規模も大きくなることから、関係部局と相談しながら、補助事業等を積極的に活用していきたいと考えます。	
<b>今後の方針等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設の現況と整備課題の洗い出しによる年次計画を作成します。</li> <li>・施設整備の基本構想・計画に関する検討会を開催し、案を作成します。</li> <li>・スポーツ推進審議会等で施設整備の基本構想・計画案を検討します。</li> </ul>		